

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成22年5月13日(2010.5.13)

【公表番号】特表2007-514752(P2007-514752A)

【公表日】平成19年6月7日(2007.6.7)

【年通号数】公開・登録公報2007-021

【出願番号】特願2006-545462(P2006-545462)

【国際特許分類】

A 6 1 K	38/22	(2006.01)
A 6 1 P	3/10	(2006.01)
A 6 1 K	9/06	(2006.01)
A 6 1 K	9/10	(2006.01)
A 6 1 K	47/02	(2006.01)
A 6 1 P	3/04	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	11/00	(2006.01)
A 6 1 P	3/00	(2006.01)
A 6 1 P	19/02	(2006.01)
A 6 1 P	19/10	(2006.01)
A 6 1 P	25/00	(2006.01)
A 6 1 K	47/10	(2006.01)
A 6 1 K	47/14	(2006.01)
A 6 1 K	47/18	(2006.01)
A 6 1 K	47/22	(2006.01)
A 6 1 K	47/42	(2006.01)
A 6 1 K	47/26	(2006.01)
C 07 K	14/605	(2006.01)
C 07 K	14/575	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	37/24	Z N A
A 6 1 P	3/10	
A 6 1 K	9/06	
A 6 1 K	9/10	
A 6 1 K	47/02	
A 6 1 P	3/04	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	11/00	
A 6 1 P	3/00	
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	19/10	
A 6 1 P	25/00	
A 6 1 K	47/10	
A 6 1 K	47/14	
A 6 1 K	47/18	
A 6 1 K	47/22	
A 6 1 K	47/42	
A 6 1 K	47/26	
C 07 K	14/605	
C 07 K	14/575	

【誤訳訂正書】

【提出日】平成22年3月11日(2010.3.11)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項33

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項33】

前記GLP-1類似体が式(I)：

【化1】

$$\begin{aligned} & H-A^7-A^8-A^9-A^{10}-A^{11}-A^{12}-A^{13}-A^{14}-A^{15}-A^{16}-A^{17}-A^{18}-A^{19}-A^{20}-A^{21}-A^{22}-A^{23}-A^{24}-A^{25}- \\ & A^{26}-A^{27}-A^{28}-A^{29}-A^{30}-A^{31}-A^{32}-A^{33}-A^{34}-A^{35}-A^{36}-A^{37}-R^1, \end{aligned}$$

(I)

[式中：

A⁷は、L-Hisであるか又は欠失され；
 A⁸は、Ala、D-Ala、Aib、Gly、Ser、Gly、-Ala、Val
 、Acc、N-Me-Ala、N-Me-D-Ala又はN-Me-Glyであり；
 A⁹は、Glu、N-Me-Glu、N-Me-Asp又はAspであり；
 A¹⁰は、Gly、Acc、-Ala又はAibであり；
 A¹¹は、Thr又はSerであり；
 A¹²は、Phe、Acc、Aic、Aib、3Pal、4Pal、1Nal、2Nal
 、Cha、Trp又は(X¹)_n-Pheであり；
 A¹³は、Thr又はSerであり；
 A¹⁴は、Ser又はAibであり；
 A¹⁵は、Asp又はGluであり；
 A¹⁶は、Val、Acc、Aib、Leu、Ile、Tle、Nle、Abu、Ala
 、1Nal、2Nal又はChaであり；
 A¹⁷は、Ser又はThrであり；
 A¹⁸は、Ser又はThrであり；
 A¹⁹は、Tyr、Cha、Phe、3Pal、4Pal、Acc、1Nal、2Nal
 又は(X¹)_n-Pheであり；
 A²⁰は、Leu、Acc、Aib、Nle、Ile、Cha、Tle、Val、Phe
 、1Nal、2Nal又は(X¹)_n-Pheであり；
 A²¹は、Glu又はAspであり；
 A²²は、Gly、Acc、-Ala又はAibであり；
 A²³は、Gln又はAsnであり；
 A²⁴は、Ala、Aib、Val、Abu、Tle又はAccであり；
 A²⁵は、Ala、Aib、Val、Abu、Tle又はAccであり；
 A²⁶は、Lys、Arg、hArg、Orn、Dab、又はDapであり；
 A²⁷は、Glu又はAspであり；
 A²⁸は、Phe、3Pal、4Pal、1Nal、2Nal、Aic、Acc、Aib
 、Cha、Trp又は(X¹)_n-Pheであり；
 A²⁹は、Ile、Acc、Aib、Leu、Nle、Cha、Tle、Val、Abu
 、Ala、Phe、1Nal、2Nal又は(X¹)_n-Pheであり；
 A³⁰は、Ala、Aib又はAccであり；
 A³¹は、Trp、2Nal、3Pal、4Pal、Phe、Acc、Aib、Cha又
 は(X¹)_n-Pheであり；

A^{32} は、Leu、Acc、Aib、Nle、Ile、Cha、Tle、1Nal、2Nal、Phe、 $(X^1)_n$ -Phe又はAlaであり；

A^{33} は、Val、Acc、Aib、Leu、Ile、Tle、Nle、Cha、Ala、1Nal、2Nal、Phe、Abu、Lys又は $(X^1)_n$ -Pheであり；

A^{34} は、Lys、Arg、hArg、Orn、Dab又はDapであり；

A^{35} は、Gly、-Ala、Gaba、Avá、HN-CH(CH_2)_m-C(O)、Aib、Acc、D-アミノ酸であるか又は欠失され；

A^{36} は、L若しくはD-Arg、D若しくはL-Lys、D若しくはL-hArg、D若しくはL-Orn、L若しくはD-Dab、L若しくはD-Dapであるか又は欠失され；そして

A^{37} は、Gly、-Ala、Gaba、Avá、Aib、Acc、Ado、Aun、Aec、D-アミノ酸であるか又は欠失され；

X^1 は、それぞれの出現につき、それぞれの出現につき独立して、(C₁~C₆)アルキル、OH、又はハロゲンであり；

nは1、2、3、4又は5であり；

R¹は、OH、NH₂、(C₁~C₃₀)アルコキシ、又はNH-X²-CH₂-Z⁰である{ここでX²は、(C₁~C₁₂)炭化水素部分であり、Z⁰は、H、OH、CO₂H又はCONH₂である}による化合物である、請求項1~32のいずれか1項の組成物。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0044

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0044】

[式中：

A^7 は、L-Hisであるか又は欠失され；

A^8 は、Ala、D-Ala、Aib、Gly、Ser、Gly、-Ala、Val、Acc、N-Me-Ala、N-Me-D-Ala又はN-Me-Glyであり；

A^9 は、Glu、N-Me-Glu、N-Me-Asp又はAspであり；

A^{10} は、Gly、Acc、-Ala又はAibであり；

A^{11} は、Thr又はSerであり；

A^{12} は、Phe、Acc、Aic、Aib、3Pal、4Pal、1Nal、2Nal、Cha、Trp又は $(X^1)_n$ -Pheであり；

A^{13} は、Thr又はSerであり；

A^{14} は、Ser又はAibであり；

A^{15} は、Asp又はGluであり；

A^{16} は、Val、Acc、Aib、Leu、Ile、Tle、Nle、Abu、Ala、1Nal、2Nal又はChaであり；

A^{17} は、Ser又はThrであり；

A^{18} は、Ser又はThrであり；

A^{19} は、Tyr、Cha、Phe、3Pal、4Pal、Acc、1Nal、2Nal又は $(X^1)_n$ -Pheであり；

A^{20} は、Leu、Acc、Aib、Nle、Ile、Cha、Tle、Val、Phe、1Nal、2Nal又は $(X^1)_n$ -Pheであり；

A^{21} は、Glu又はAspであり；

A^{22} は、Gly、Acc、-Ala又はAibであり；

A^{23} は、Gln又はAsnであり；

A^{24} は、Ala、Aib、Val、Abu、Tle又はAccであり；

A^{25} は、Ala、Aib、Val、Abu、Tle又はAccであり；

A^{26} は、Lys、Arg、hArg、Orn、Dab、又はDapであり；

A^{27} は、Glu又はAspであり；

A^{28} は、Phe、3Pal、4Pal、1Nal、2Nal、Aic、Acc、Aib、Cha、Trp又は $(X^1)_n$ -Pheであり；

A^{29} は、Ile、Acc、Aib、Leu、Nle、Cha、Tle、Val、Abu、Ala、Phe、1Nal、2Nal又は $(X^1)_n$ -Pheであり；

A^{30} は、Ala、Aib又はAccであり；

A^{31} は、Trp、2Nal、3Pal、4Pal、Phe、Acc、Aib、Cha又は $(X^1)_n$ -Pheであり；

A^{32} は、Leu、Acc、Aib、Nle、Ile、Cha、Tle、1Nal、2Nal、Phe、 $(X^1)_n$ -Phe又是Alaであり；

A^{33} は、Val、Acc、Aib、Leu、Ile、Tle、Nle、Cha、Ala、1Nal、2Nal、Phe、Abu、Lys又是 $(X^1)_n$ -Pheであり；

A^{34} は、Lys、Arg、hArg、Orn、Dab又是Dapであり；

A^{35} は、Gly、-Ala、Gaba、Avá、HN-CH(CH₂)_m-C(O)、Aib、Acc、D-アミノ酸であるか又は欠失され；

A^{36} は、L若しくはD-Arg、D若しくはL-Lys、D若しくはL-hArg、D若しくはL-Orn、L若しくはD-Dab、L若しくはD-Dapであるか又は欠失され；そして

A^{37} は、Gly、-Ala、Gaba、Avá、Aib、Acc、Ado、Aun、Aec、D-アミノ酸であるか又は欠失され；

X^1 は、それぞれの出現につき、それぞれの出現につき独立して、(C₁~C₆)アルキル、OH、又はハロゲンであり；

nは1、2、3、4又は5であり；

R¹は、OH、NH₂、(C₁~C₃₀)アルコキシ、又はNH-X²-CH₂-Z⁰である{ここでX²は、(C₁~C₁₂)炭化水素部分であり、Z⁰は、H、OH、CO₂H又はCONH₂である}による化合物である、パラグラフ(32)の組成物。